

## 目標達成計画

作成日: 平成29年11月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1-(1)	地域に密着したケアを実践しているが、理念が開設当初のままである。実践の振り返りと拠り所となるべく事業所理念の検討が必要。	地域密着型サービスの意義を踏まえた実践をする拠り所となる理念を、確立する。	1、外部評価の結果を、スタッフみんなで共有する。 2、地域密着型サービスの理解をする。 3、かいせいにおける実践を振り返る。 4、実践の拠り所となる、理念を再考する。 5、家族会で、理念変更をご家族の皆様にも周知する。(平成30年4月予定)	4ヶ月
2	8-(6)	権利擁護に対する制度理解、スタッフ間の周知が全てのスタッフ理解につながっていない。	さまざまな利用者の権利を守る制度の理解を深め、利用者や家族の橋渡しになれる。	1、年間研修計画に位置付ける。 2、北九州市の開催する研修に参加する。 3、研修報告会として、全スタッフに周知する機会を持つ。(平成29年12月研修予定)	1ヶ月
3	51-(21)	行事としての外出の機会は計画的に実行しているが、日常的な外出になっていない。	外気浴の機会を日常的に作り、外気浴の効果スタッフ全員が理解する。	1、スタッフ会議で外気浴の効果を理解する。 2、その効果を実践するために、スケジュールで、外気浴の日を位置づける。 3、天候に左右されるため、臨機応変に対応できるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。